

ボーリング柱状図

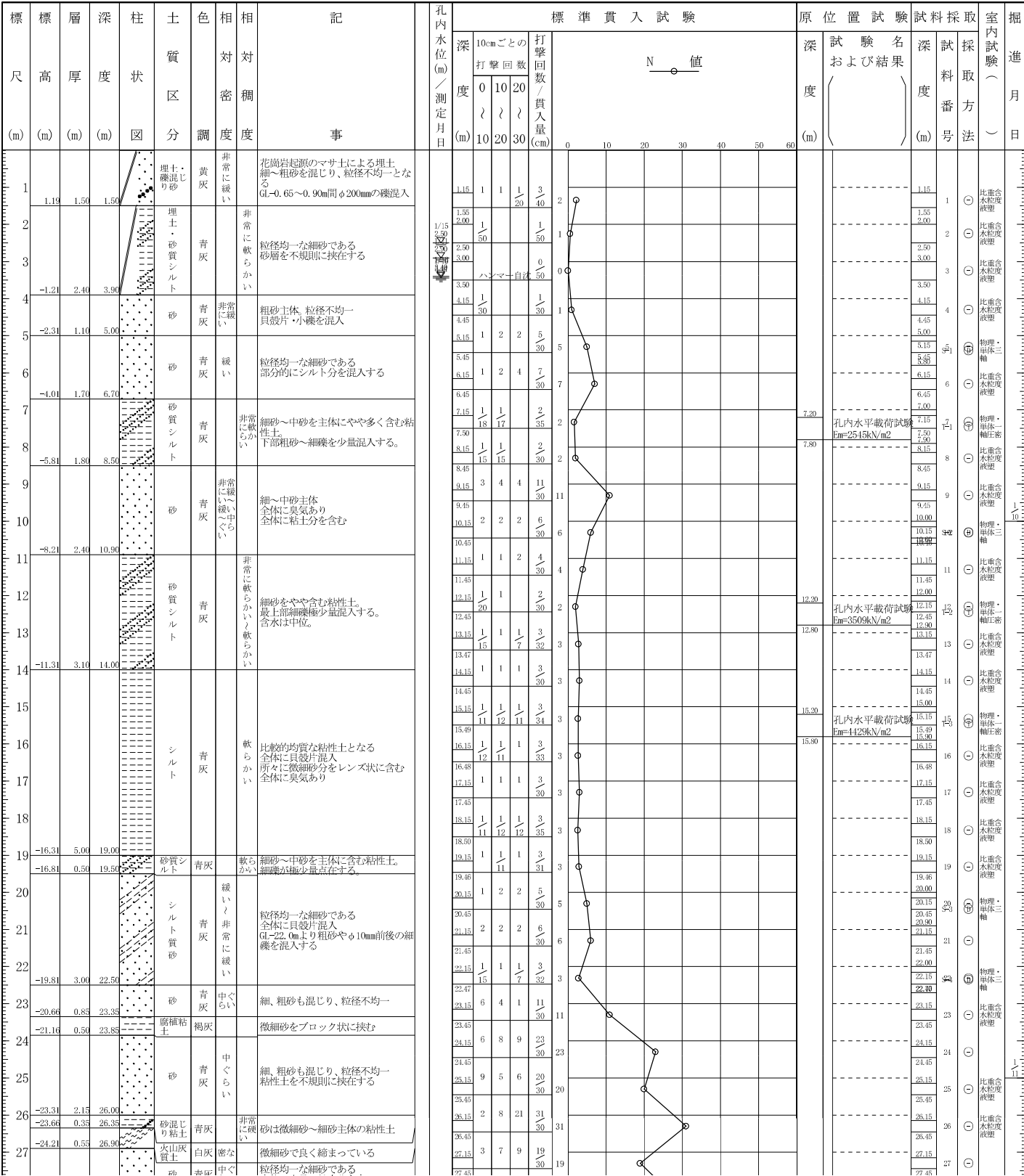
調査名 広域河川改修事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名 二級河川尾崎川水系尾崎川

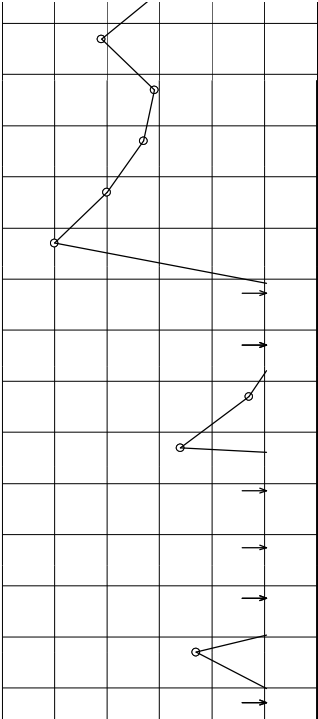
シートNo

ボーリング名	吐水(2)		調査位置		広島県安芸区海田町寿町2-1地内						北緯		34° 21' 24.55"	
発注機関	広島県西部建設事務所 東部連続立体交差事業課				調査期間		平成 30年 1月 9日 ~ 30年 1月 12日				東経		132° 31' 43.70"	
調査業者名			主任技師				現 場 代 理 人		コ ア 鑑 定 者		ボーリング責任者			
孔 口 標 高	T.P +2.69m		角 上 90° 下 0° 度	方 北 0° 270° 西 180° 南 東 向	地盤勾配 鉛直 90° 水平0° 0°	使用機種	試 錐 機		東 邦 製 D1-B48型		ハンマー落下用具		半自動落下	
総掘進長	40.00m						エ ン ジ ン		ヤ ン マ ー 製 NFD-12型		ポ ン プ		東 邦 製 BG-3C型	



27	-24.21	0.53	26.90	火山灰質土	白灰	密な	微細砂で良く締まっている
28	-25.21	1.00	27.90	砂	青灰	中ぐらい	粒径均一な細砂である 全体に少量の粘土分を含む
29				礫混じり砂	青灰	中ぐらい	細、粗砂も混じり、粒径不均一 φ2~40mm程度の垂円礫を混入 GL-30.35~30.65m間均一な細砂となる
30				砂			
31	-28.31	3.10	31.00	砂質粘土	暗灰	硬い	均一な微細砂である 黒雲母片を混入
32	-29.21	0.90	31.90	砂	青灰	密な	粒径均一な細砂である
33				礫混じり砂	青灰	非常に密な	細、粗砂も混じり、粒径不均一 φ2~40mm程度の垂円礫を混入
34				砂			
35	-32.26	2.70	34.95	砂	青灰	密な	粒径均一な細砂である GL-35.50~35.65m間小礫を混入する
36	-33.31	1.03	36.00	砂礫	青灰	非常に密な	φ2~50mm程度の垂円礫を主体とする マトリックスは中粗砂を主体とする 全体に少量の粘土分を含む
37	-34.91	1.60	37.60	シルト混じり砂	淡青灰		砂は細砂~中砂主体 含水多く緩い
38	-35.31	0.40	38.00	砂礫	黄褐灰	非常に密な	φ2~40mm程度の垂円礫を主体とする
39	-36.11	0.80	38.80	砂	淡青灰	密な	細、粗砂も混じり、粒径不均一
40	-37.11	1.00	39.80	粘土質砂	青灰		砂は細砂~中砂主体
	-37.31	0.20	40.00	砂			粒径均一な細砂である

27.15	3	7	9	19
27.45				30
28.15	8	9	12	29
28.45				30
29.15	6	6	15	27
29.45				30
30.15	8	6	6	20
30.45				30
31.15	2	3	5	10
31.45				30
32.15	14	23	13	50
32.40		5	25	60
32.40				
33.15	12	18	20	50
33.43		8	28	54
34.15	20	15	12	47
34.45				30
35.15	8	12	14	34
35.45				30
36.10	50			50
36.18	8			8
36.18				188
37.15	25	23	2	50
37.30		1	21	71
38.15	20	30		50
38.34		9		19
39.15	11	10	16	37
39.45				30
40.15	11	19	20	50
40.15		7	27	56
40.42				



27.15	27	○	
27.45			
28.15	28	○	比重含水粒皮破
28.45			
29.15	29	○	
29.45			
30.15	30	○	比重含水粒皮破
30.45			
31.15	31	○	比重含水粒皮破
31.45			
32.15	32	○	
32.40			
33.15	33	○	比重含水粒皮破
33.43			
34.15	34	○	
34.45			
35.15	35	○	比重含水粒皮破
35.45			
36.05	36	○	
36.15			
37.10	37	○	比重含水粒皮破
37.31			
38.10	38	○	
38.29			
39.15	39	○	比重含水粒皮破
39.45			
40.15	40	○	比重含水粒皮破
40.42			